

# 2022年10月7日 第3403回例会

於： 横須賀商工会議所



- <点鐘・開会> 12:30 前田 会長  
 <斉 唱> 「君が代」「奉仕の理想」 ソングリーダー 佐久間博一 会員  
 <唱 和> 「四つのテスト」  
 <ゲスト紹介> \*地区ポリオプラス委員会 委員長 笠 間 治一郎 様 (綾瀬春日RC)  
 \*米山奨学生 王 冠 博 様  
 <ビジター紹介> \*地区ポリオプラス委員会 副委員長 根 岸 君 代 様 (平塚北RC)  
 \*地区ポリオプラス委員会 委員 関 口 直 美 様 (平塚湘南RC)  
 \*地区ポリオプラス委員会 委員 野 口 宏 様 (大和中RC)  
 <誕生月祝> \*岡 田 圭 太 (H. 2.10. 2) \*鹿 島 勇 (S. 22.10. 7)  
 \*吉 田 清 (S. 27.10.11) \*長谷川 誠 剛 (S. 44.10.14)  
 \*小 林 康 記 (S. 24.10.16) \*濱 田 惠 里 (S. 33.10.16)  
 \*小 沢 一 彦 (S. 12.10.23) \*小 平 一 穂 (S. 33.10.28)  
 \*椿 和 香 (S. 43.10.30) 各会員

- <入会月祝> ・小佐野 圭 三 ・飯 塚 進一郎 ・織 茂 明 彦 ・外 木 祥 司  
 ・根 岸 文 彦 ・物 井 宏 介 ・岡 田 英 城 ・平 松 廣 司  
 ・山 田 晴 史 ・鈴 木 隆 裕 ・角 井 駿 輔 ・南 裕 貴  
 各会員

## <ピンクリボン運動実行委員会へ感謝状授与>

- <会 長 報 告> \*第3回理事役員会 報告  
 \*ガバナー事務所より

- ・2025~2026年度ガバナー・ノミニー選出の件について
- ・2025~2026年度ガバナー・ノミニー候補者提案に関する告知について
- ・2023~2024年度ガバナー補佐及びオンツー・シンガポール国際大会委員会委員ご就任委嘱の件について 岡田 英城会員
- ・2022-23年度に実施する特別応募募集地区補助金要項について
- ・退会者について

## <米山奨学生へ奨学金授与> 王 冠博 さん

- <委員長報告> \*雑誌委員会 臼井委員長よりロータリーの友10月号  
 \*ピンクリボン運動実行委員会 前田委員長よりピンクリボンよこすか2022報告  
 \*出席委員会 田村副委員長より9月出席報告 9月分平均出席率 74.95%

	会員数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠席数	メイクアップ数	出席率
9月 2日	116名	105名	73名(5名)	32名	3名	72.38%
9日	116名	106名	65名(6名)	41名	9名	69.81%
16日	116名	105名	83名(7名)	22名	3名	81.90%
30日	116名	107名	76名(6名)	31名	5名	75.70%

## <幹事報告> \*週報・横須賀北RCより受領

## <出席報告> \*出席委員会 田村副委員長より10月7日の出席報告

会 員 数	出席対象者数	出席数(ZOOM出席数)	欠 席 数	メイクアップ数	出 席 率
115名	106名	75名(5名)	31名	8名	78.30%

## <ニコニコ報告>

- ・地区ポリオプラス委員会副委員長 根岸君代様 (平塚北RC)、委員 関口直美様 (平塚湘南RC)、野口 宏様 (大和中RC)

本日ポリオ委員会より笠間委員長の応援にまいりました。よろしく願い致します。

- ・三 役 地区ポリオプラス委員会委員長 笠間治一郎様、副委員長 根岸君代様、委員 野口 宏様・関口 直美様 ようこそおいで下さいました。本日の卓話楽しみにしております。
- ・比 護、澤 田、大 石、福 西、波 島、鷺 尾、八 巻、渡 邊、江 口、勝 見、畑、佐久間、濱 田、植 田、二 瓶、田 中、田 邊、岡田 儼、根 岸、小山 働、杵 渕、勝 間、北 村 各会員  
地区ポリオプラス委員会委員長 笠間治一郎様、副委員長 根岸君代様、委員 野口 宏様・関口直美様、本日は横須賀RCにお越しくださり有難うございます。卓話もどうぞ宜しくお願いします。
- ・小 沢 会員 地区ポリオプラス委員会のみなさま、ようこそ横須賀ロータリークラブへ。例会をお楽しみください。
- ・三 役 米山奨学生 王 冠博様よくお出でくださいました。本日の例会、お楽しみください。
- ・澤 田、南、波 島、田 村、佐久間、徳 永、白 井、前 川 各会員  
米山奨学生 王 冠博様、先週の卓話ありがとうございました。本日の例会もお楽しみ下さい。
- ・吉 田、小林 働、濱 田、小 沢、椿 各会員 誕生月祝いとして
- ・飯 塚、外 木、根 岸、岡田 儼、山田 働、角 井、南 各会員 入会月祝いとして
- ・児 玉、梁 井、石 田、澤 田、杉 浦、大 石、波 島、鈴木 健、加藤 働、猿 丸、岩 崎、上 林、木 村、小林 (-)、小保内、濱 田、小山 働、松本 働、田 邊、笠 木 各会員  
9月30日の「ピンクリボンよこすか2022」は、三浦学苑吹奏楽部の盛大な演奏を皮切りに、23名の検診、市役所庁舎へのライトアップを行い無事終了しました。加藤淳社会奉仕委員長、ご参加の会員皆様、大変お疲れ様でした。
- ・中 村 会員 ピンクリボンよこすか、おつかれ様でした。メディアへの露出は、神奈川新聞掲載済み、タウンニュースは今日掲載、はまかぜ新聞は10月14日号、J : COM Weekly トピックスは明日放送です。お楽しみに。
- ・前 田 会長 10月のニコニコボックスへの大入りを願っています。皆さんもよろしくお祈りします。

## <卓 話>

地区ポリオプラス委員会  
委員長 笠 間 治一郎 様

こんにちは。今年度、地区のポリオプラス委員会委員長を仰せつかっております笠間です。



今、ご紹介頂きましたように綾瀬春日ロータリークラブの所属です。今年度、地区ポリオプラス委員会では卓話依頼を受けるなど、各クラブが主体となって活動しているところのサポートを主に委員会としては活動しています。これから卓話でお話させて頂く内容については委員会の中で検討して、各委員がどこでも同じように説明できるように考えたものです。実は私、こうして卓話をさせて頂くのは初めてです。先ほど久保田ガバナー年度のガバナー補佐というご紹介を頂きましたが、その時には自分が所属する第4グループで顔見知りの多い中での卓話でしたので、それ以外にこのように大勢のそれも伝統ある横須賀ロータリークラブで卓話をするということでもかなり緊張しています。そちらに同期の田辺さんもいますが、さらに国際ロータリーのポリオプラス日本担当アドボカシーアドバイザーでもある元R I 理事の小沢さんにも聞き

に来ていただいて非常に緊張しています。先ほどお話ししたように、本年度、誰でも同じ話ができるように作成したものですのでそれをお聞きいただければと思います。どうぞよろしくお祈り致します。最初に国際ロータリー2670地区で作成しました「教えてポリオプラス」という映像がございますのでご覧ください。

【動画視聴】

今見て頂いた映像ともう一つ「教えてエンドポリオ」という動画もあります。YouTube などいろいろなところで見ることができますので是非ご覧ください。それでは動画と重複した部分もごさいますがご説明させていただきます。まずは皆様もご承知だと思いますがポリオとは急性灰白髄炎のことでウイルス感染症です。身体麻痺を引き起こし、時には死を招きます。治療法は現在ありません。5歳以下の子供に感染する確率が高く、小児麻痺と呼ばれています。ただ先ほど動画でもあったようにワクチン接種で予防することができます。このことからポリオは根絶が可能なのです。続いてポリオプラスとは、1980年初頭、日本以外の発展途上国の伝染病、ハンカ、ジフテリア、破傷風、結核、百日咳の5つの伝染病にポリオをプラスして世界から同時追放を目的としているという意味が込められております。そして30年以上にわたって国際ロータリーとパートナー組織であるビル&メリнда・ゲイツ財団、WHO、ユニセフなどいくつかのパートナーとポリオを世界から根絶する取り組みを行っています。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)の中心的パートナーである国際ロータリーは主にアドボカシーによって政府に働きかけ、非営利活動の資金集め、ボランティアの動員、認識向上に貢献しているところです。当地区では2014年度よりインドのデリーで行われる全国予防接種日に参加しています。ここ三年ほどはコロナによってインドには行けていませんがこのような活動は続けたいと思っています。ポリオの現状ですが、先ほどロータリーの友10月号に残り2か国と発表がありましたが9月28日現在の状況はパキスタン19名、アフガニスタン2名、モザンビーク6名、合計3か国27名になります。今年に入って少しずつ増えています。昨年度はもう少し少なかった。毎月のロータリーの友に小さくですが感染者数が載っておりますので是非見てください。ただ主にはパキスタンとアフガニスタン、この2か国を根絶すれば世界からポリオがなくなるのではないかとされています。世界での発生数は、1988年には125か国以上の常在国があり、推定で35万人のポリオ患者が発生していましたが、99%以上減少し、2019年には患者が37名となりました。野生型ポリオウイルスの発症が確認されているのは3か国ですが、主にパキスタン、アフガニスタンにおいてこの活動によってポリオにならずに済んだ方が世界で推定1940万人、命を落とすことがなかった人数については150万人以上とされています。ポリオ根絶のために築かれたインフラはコロナを含めたほかの疾病にも利用されていて、長期的なインパクトをもたらしています。今後の課題としては、政情不安、地理的要因、人口変動、場合によってはワクチン拒否などに直面していて、政府の全面的な支援、各地からの活動を可能にするテクノロジーが進めばポリオ根絶ができるのではないかと考えています。国際ロータリーとパートナー組織はポリオ根絶のために当時毎年5000万ドル拠出することを目標としています。ビル&メリнда・ゲイツ財団、ロータリーからの寄付に対して2倍額を上乗せすることを約束しました。これらの資金は「根絶活動の運営」「医療従事者の確保」「研究所の設置」「啓発資料」のために使用されています。

横須賀ロータリークラブさんでは根絶デイである24日の前日、10月23日に4クラブ合同でポリオ根絶募金活動を行うということで、こういった形で各クラブが主体となって活動して頂きたいというお願いを年度初めにさせて頂きました。また卓話の依頼も今年度委員会が始まる前に頂きまして、他のクラブさんもこのように活動して頂きたいと思います。またユニセフなどの団体と協力して紛争地域、孤立している地域の予防接種の実施への情報資料の配布をしているところです。トータルとしてはこのような活動の中でさらにボランティアの動員やワクチン輸送などの手配もしています。時間となりましたので卓話を終了いたしますが今年度、エンドポリオ、ポリオプラスを理解して頂けるような卓話をしていきたいと思っています。本日は貴重なお時間を頂きましてありがとうございました。

<閉会・点鐘> 13:30 前田 会長

週報担当 石田 裕樹